

平成29年度 児童の意識調査

「わたしのフローティングスクール」 集計結果

滋賀県立びわ湖フローティングスクール

【第1回～第96回児童学習航海の集計結果】

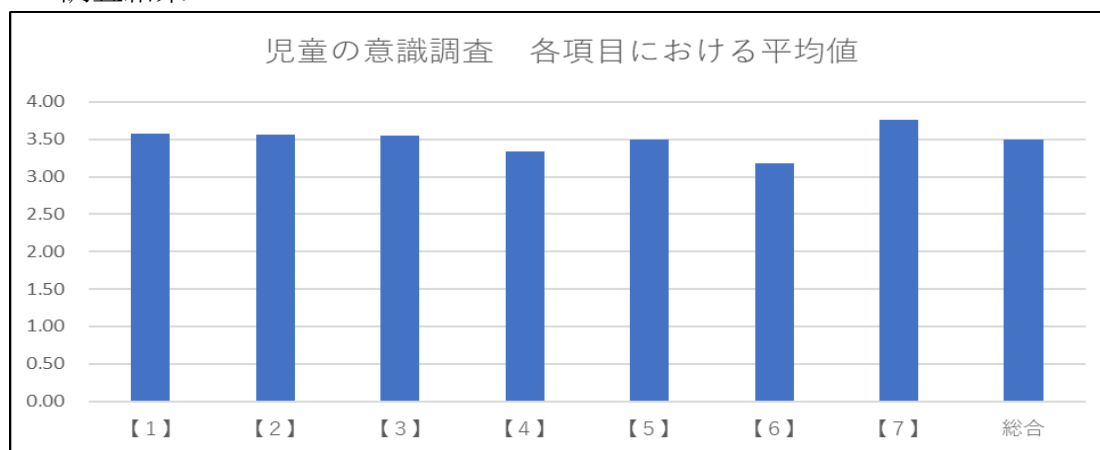
1. 評価項目について

- 【1】航海前の学習で、今まで知らなかったことや確かめたかったことを見つけることはできたか
- 【2】航海中の生活では、「3つのあ」の約束を意識してすごすことができたか
- 【3】航海中に、今まで知らなかったことや確かめたかったことを、知ったり確かめたりすることができたか
- 【4】航海中に、もっと知りたいことや確かめたいことを見つけることができたか
- 【5】フローティングスクールを通して、友だちの良さを見つけたり、友だちの考えから自分の考えを深めたりすることができたか
- 【6】フローティングスクールの学習を終えて、びわ湖学習のテーマについての自分の考えを持ち、他の人に伝えることができたか
- 【7】フローティングスクールの学習は、良かったか

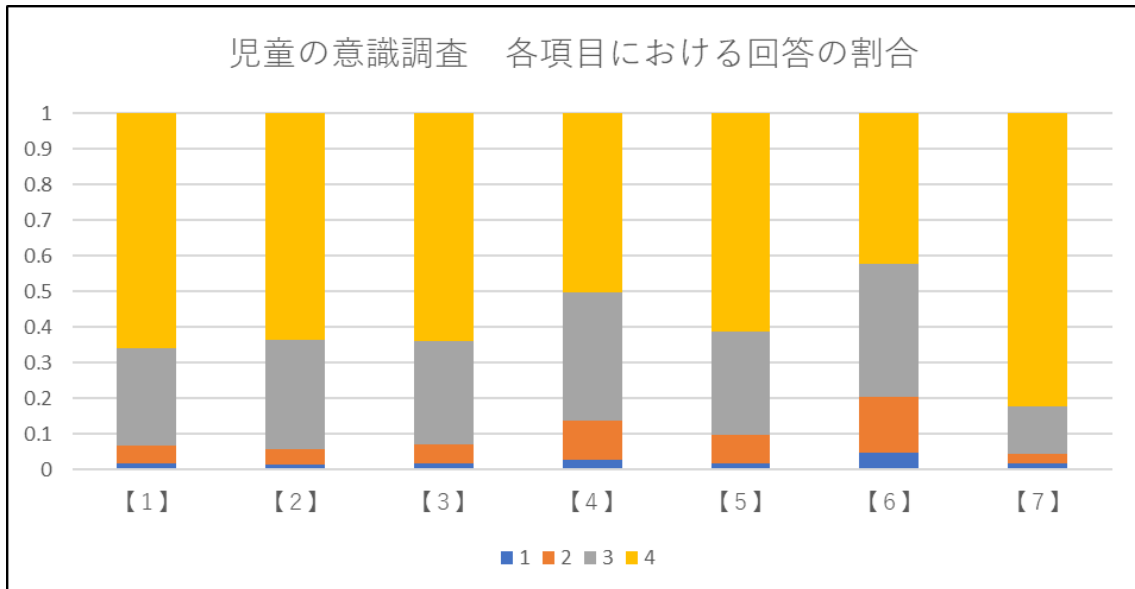
「うみのこ」での2日間の活動や生活を振り返って、4段階で評価

4…できた 3…どちらかといえばできた 2…あまりできなかった 1…できなかった

2. 調査結果



【1】	【2】	【3】	【4】	【5】	【6】	【7】	総合
3.58	3.57	3.55	3.34	3.50	3.17	3.76	3.50



3. 児童の感想（主なもの）

- ・安全・あいさつ・あとしまつという「3つのあ」をきちんと守れた。これからの日常生活でも生かしていきたい。
- ・びわ湖の魅力をたくさん見つけられた。これから、環境のことを考えて、びわ湖と関わろうと思った。
- ・今のびわ湖は40年くらい前と比べて、ずいぶん透き通った。それは、たくさんの人が努力したからなので、その努力を引き継いでいきたい。
- ・びわ湖からの景色を見て、びわ湖のすばらしさを知ってびわ湖が好きになった。
- ・びわ湖と私たちの生活には深い関わりがあることがわかった。私が思うよいびわ湖は、人や魚などたくさんの生き物がすみやすいびわ湖だと思います。このフローティングスクールを通して、びわ湖の大切さを知ることができてよかった。
- ・班のみんなで長浜タウンウォークラリーをゴールしたり、寝る準備をしたりして、絆を深められたし、新しい友達もできた。
- ・びわ湖は私たちの住んでいる滋賀だけでなく、大阪や京都の飲み水として使われていることを知った。（交流航海）
- ・「うみのこ」で、たくさんの人たちと一緒に生活する楽しさ、協力して物事を達成する達成感を感じた。
- ・びわ湖には素晴らしい自然があることを感じた。白石、多景島、沖島などの展望はきれいでうっとりした。